

日本比較文学会第52回東京大会

日時：2014年10月11日(土)
会場：二松學舎大学九段キャンパス3号館
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-2-4
TEL 03-3261-7407

一般来聴歓迎・入場無料
事前登録不要

総合司会：二松學舎大学 増田裕美子／東京外国語大学 沼野 恭子

11:00 幹事会 (3号館3062・63教室)

12:00 受付開始 (3号館4階)

12:50 開会式 (3号館3041教室)

議長：聖徳大学 近藤 圭一

開会の辞 東京支部長・日本大学 井上 健
会場校ご挨拶 二松學舎大学学長 渡辺 和則

研究発表 13:05~14:50

A室 (3号館3051教室)

- 夏目漱石『野分』の「カルチュア」
— 大正期「教養」／「文化」概念成立への形成過程 — 青山学院大学大学院 大山 英樹
- 極東への旅
— 1929年のローレンス・ビニョンの訪日、訪中について — 読売日本テレビ文化センター非常勤 範 麗雅
- 谷崎潤一郎における人魚のモチーフと浅草
— 「鮫人」を中心に — 東京大学大学院 朴 恩恵

B室 (3号館3052・53教室)

- 西洋文学を私小説として読み直してみる
— 太宰治『女の決闘』を巡って — パリ第7大学大学院 イザベル・ラヴェル
- 『ヒロシマ・モナムール』から『H story』へ
— 「戦争の記憶」、その表象と継承 — 日本大学大学院 宮田 文久
- コンラッド、コッポラから村上春樹へ
— 村上作品の創作の原点と本質を探る — 日本大学非常勤 岡田 善明

C室 (3号館3061教室)

- 大正期恋愛至上主義を背景とした「結婚した親鸞」の表象
— 石丸梧平による「親鸞文学」を中心に — 東京工業大学大学院 大澤 絢子
- 日本近代における「恋愛輸入説」
— 「理想化された恋愛観の輸入」「キリスト教」「世俗化」について — 千葉大学 加藤 隆

シンポジウム 15:00~17:30 (3号館3021教室)

第一次世界大戦後と 日本モダニティの変容

司会・講師 日本大学 井上 健
パネリスト 東京大学 エリス俊子
東京外国語大学 西岡あかね
立教大学 林 淑美
日本大学 椎名 正博

ディスカッサント

17:30 総会 (3号館3021教室)

17:55 閉会の辞

18:00 懇親会 会場：二松學舎大学 1号館13階ラウンジ 会費：5000円 (学生・大学院生は3000円)

議長：昭和女子大学 森本 真一

東京女子大学 小宮 彰

*懇親会に参加される方は、10月4日(土)までに、
東京支部事務局にご連絡ください

司会：中央大学 亀井 伸治
敬愛大学 畑中 千晶

問い合わせ先 日本比較文学会東京支部事務局
日本大学法学部 諸坂成利研究室 内

〒101-8375 千代田区三崎町2-3-1
TEL: 03-5275-8730 FAX: 03-3802-3568
smorosak@law.nihon-u.ac.jp

JAPAN COMPARATIVE LITERATURE ASSOCIATION